アルインコ株式会社

2026年3月期
決算補足説明資料

2026年 5月 1日

証券コード：5933

https://www.alinco.co.jp/

ALINCO

安心と豊かさを創る

2026年3月期　連結業績

ALINCO 安心と豊かさを創る

✓売上高は前期比1.7%増、営業利益は円安が進展した影響を受けたものの売上高の増加によって同0.8%増、経常利益は外貨建資産の評価による為替差益により前期比3.7%増と堅調に推移した。

✓親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に特別利益として計上した子会社清算益1.9億円や受取和解金の1.4億円が無いため、前期比10.5%減となった。

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	
	実績 （売上比）	実績 （売上比）	実績 （売上比）	前期比 増減額 （増減率）
売上高	57,876 (100.0%)	61,601 (100.0%)	**62,632** **(100.0%)**	+1,030 (+1.7%)
営業利益	1,781 (3.1%)	2,196 (3.6%)	**2,212** **(3.5%)**	+16 (+0.8%)
経常利益	2,879 (5.0%)	2,678 (4.3%)	**2,777** **(4.4%)**	+98 (+3.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,988 (3.4%)	1,959 (3.2%)	**1,753** **(2.8%)**	△206 (△10.5%)

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

2026年3月期　セグメント別業績

ALINCO 安心と豊かさを創る

✓建設機材セグメントでは、将来の建設計画に備えた計画的な調達ニーズに対応し、主力製品の「アルバトロス」を中心に売上高は増加したものの、消耗度が高く利益率の低い足場板などの製品の販売が多くを占めたことから、セグメント利益は減少した。

✓レンタルセグメントでは、中高層用においては稼働率が順調に推移し、低層用においても着実に受注対応を進めた結果、売上高は前期並みとなった。損益面では、”購買からレンタルへ“の動向に対応すべく積極的なレンタル資産への投資を継続していることから減価償却費が前期比1.7億円増加し、セグメント利益は減少した。

✓住宅機器セグメントでは、建機レンタル向け高所作業台や玄米保冷庫の販売が好調。また、フィットネス関連製品も電動ウォーカーなどの比較的高額品に販売回復の傾向が生じた。当事業全体の売上高の増加によってセグメント損失を改善。

✓電子機器セグメントでは、消防無線が更新需要により前期比145.9%増となり売上高が増加。売上高の増加によりセグメント損失を改善。

（単位：百万円）

上段：売上高 下段：セグメント利益	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	
	実績	実績	実績	前期比 増減率
建設機材関連	21,829 2,514	24,565 2,212	**24,674** **1,971**	+0.4% △10.9%
レンタル関連	17,607 383	18,001 1,407	**17,881** **1,269**	△0.7% △9.8%
住宅機器関連	13,274 △462	13,973 △523	**14,456** **△363**	+3.5% –
電子機器関連	5,164 △65	5,061 △534	**5,620** **△441**	+11.0% –
調整	– 509	– 115	**–** **340**	– –
全社合計	57,876 2,879	61,601 2,678	**62,632** **2,777**	+1.7% +3.7%

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

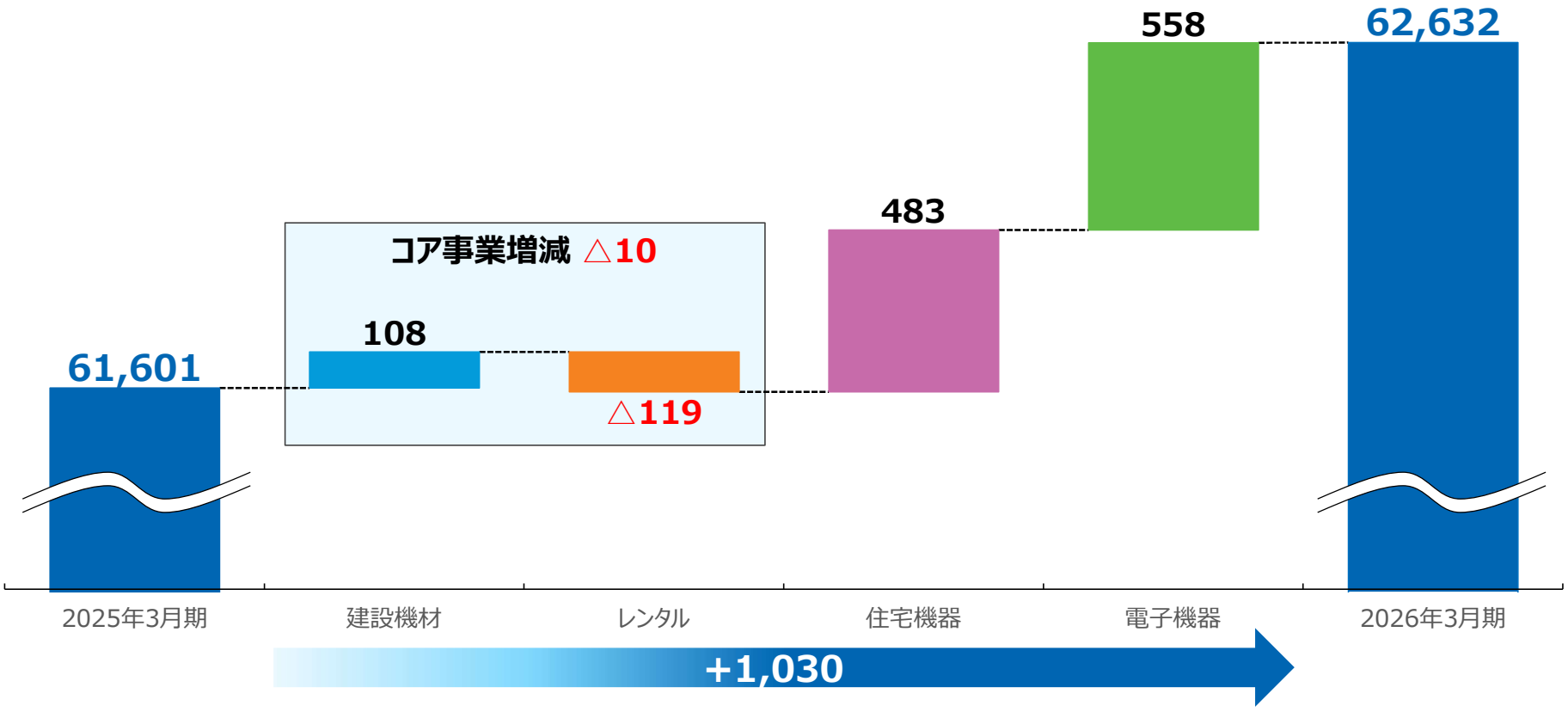
2026年3月期　セグメント別売上高増減

✓仮設機材販売が前期比2.7億円増となった一方、物流関連製品の販売は同1.6億円減となり、建設機材セグメントとしては同1.0億円増となった。また、レンタルは同1.1億円減となった結果、コア事業全体としては前期並となった。

✓住宅機器セグメントでは、住宅機器製品の売上増が寄与し、同4.8億円増となった。

✓電子機器セグメントは、消防無線の販売増が寄与し、同5.5億円増となった。

（単位：百万円）



（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

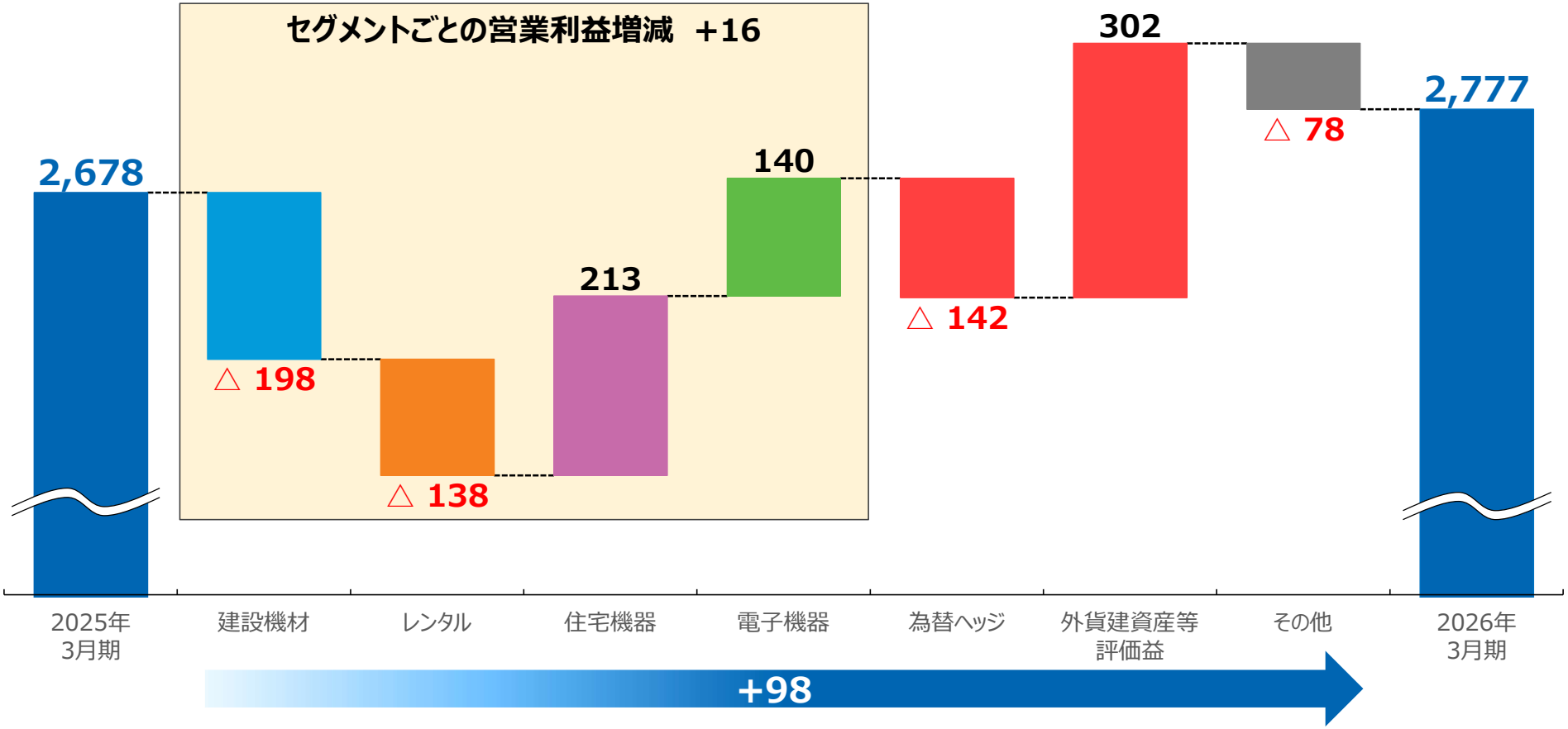
Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

2026年3月期　経常利益増減

✓営業利益は、住宅機器や電子機器セグメントの売上高増加による利益増加がコア事業である建設機材セグメントやレンタルセグメントの利益減少を補い、前期比0.16億円増となった。

✓経常利益は、外貨建て資産等評価益の増加により、前期比0.98億円増となった。

（単位：百万円）



（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

2026年3月期　連結財政状態

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	
	実績 （構成比）	実績 （構成比）	前期比 増減額 （増減率）
流動資産	43,194 （60.9%）	**42,966** **（58.6%）**	△227 （△0.5%）
固定資産	27,689 （39.1%）	**30,316** **（41.4%）**	+2,627 （+9.5%）
資産合計	70,883 （100.0%）	**73,282** **（100.0%）**	+2,399 （+3.4%）
流動負債	21,739 （30.7%）	**22,194** **（30.3%）**	+454 （+2.1%）
固定負債	17,149 （24.2%）	**17,530** **（23.9%）**	+381 （+2.2%）
負債合計	38,888 （54.9%）	**39,724** **（54.2%）**	+835 （+2.1%）
純資産	31,994 （45.1%）	**33,557** **（45.8%）**	+1,563 （+4.9%）
負債・純資産合計	70,883 （100.0%）	**73,282** **（100.0%）**	+2,399 （+3.4%）
自己資本比率	45.1%	**45.8%**	+0.7ポイント
D/Eレシオ	0.81倍	**0.81倍**	－

主な増減要因(百万円)

流動資産

現金・預金	△311
たな卸資産	+177

固定資産

建物及び構築物	+1,108
レンタル資産投入	+1,518
レンタル資産減価償却費	△1,022

負債

長短借入金	+1,342

純資産

親会社株主に帰属する当期純利益	+1,753
配当金の支払	△877

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

2026年3月期　連結キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	
	実績	実績	前期比増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	**5,424**	**3,350**	△2,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△5,560**	**△3,626**	+1,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△103**	**484**	+588
現金及び現金同等物の期末残高	**6,783**	**6,569**	△214
フリー・キャッシュ・フロー	**△136**	**△275**	△139

主な増減要因（百万円）

営業キャッシュ・フロー

棚卸資産の増加	△956
未払消費税等の減少	△1,041

投資キャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	+1,883

財務キャッシュ・フロー

長短借入れによる収入	+575

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

- ✓営業活動によるキャッシュ・フローは、次期以降の需要に対する計画的な生産による棚卸資産の増加や、消費税等や法人税等の支払額が増加したことなどから、前期比で収入減
- ✓投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、有形固定資産の取得による支出が減少したことなどから、前期比で支出減

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

2027年3月期業績予想について

2027年3月期　連結業績予想

ALINCO 安心と豊かさを創る

✓2027年3月期は売上高、利益共に前期を上回る計画。当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界においては、人手不足や建設コストの高止まりによる供給制約が民間設備投資の抑制要因となるものの、国土強靭化に対する社会的な要請を背景に、公共投資は堅調な推移が見込まれ、建設投資の増勢基調は継続するものと予想される。

✓原材料価格の上昇が見込まれるため価格改定を計画。また、為替は1ドル＝150円を前提とする。

（単位：百万円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績			2027年3月期 予想		
		上期（前年同期比増減率）	下期（前年同期比増減率）	通期（前期比増減率）	上期（前年同期比増減率）	下期（前年同期比増減率）	通期（前期比増減率）
売上高	61,601	31,748 (+3.0%)	30,883 (+0.3%)	62,632 (+1.7%)	32,700 (+3.0%)	32,500 (+5.2%)	65,200 (+4.1%)
営業利益	2,196	1,256 (△4.4%)	956 (+8.4%)	2,212 (+0.8%)	1,400 (+11.5%)	1,600 (+67.4%)	3,000 (+35.6%)
経常利益	2,678	1,421 (△3.6%)	1,355 (+12.6%)	2,777 (+3.7%)	1,500 (+5.6%)	1,700 (+25.5%)	3,200 (+15.2%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,959	918 (△10.8%)	834 (△10.3%)	1,753 (△10.5%)	960 (+4.6%)	1,190 (+42.7%)	2,150 (+22.6%)

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2027年3月期　セグメント別業績予想

- ✓建設機材セグメントは、前期より得意先を多様化する取り組みが一定程度進んだ結果、これらの取引先からの受注を積み上げることで増収を計画。また、利益面では高付加価値製品の構成比増や価格改定などにより増益を計画
- ✓レンタルセグメントでは、価格改定や関西圏の需要回復による増収を計画するも、人件費やレンタル資産償却費などの増加により減益
- ✓住宅機器セグメントは価格改定を実施するほか、業務用フィットネス機器の拡販で売上高の増加とセグメント利益の赤字幅縮小を図る計画
- ✓電子機器セグメントは主力の特定小電力トランシーバーの新商品投入や、消防無線の買い替え需要への対応により増収を計画。プリント配線板関連は、設備増強による得意先の多様化により売上高増を計画

（単位：百万円）

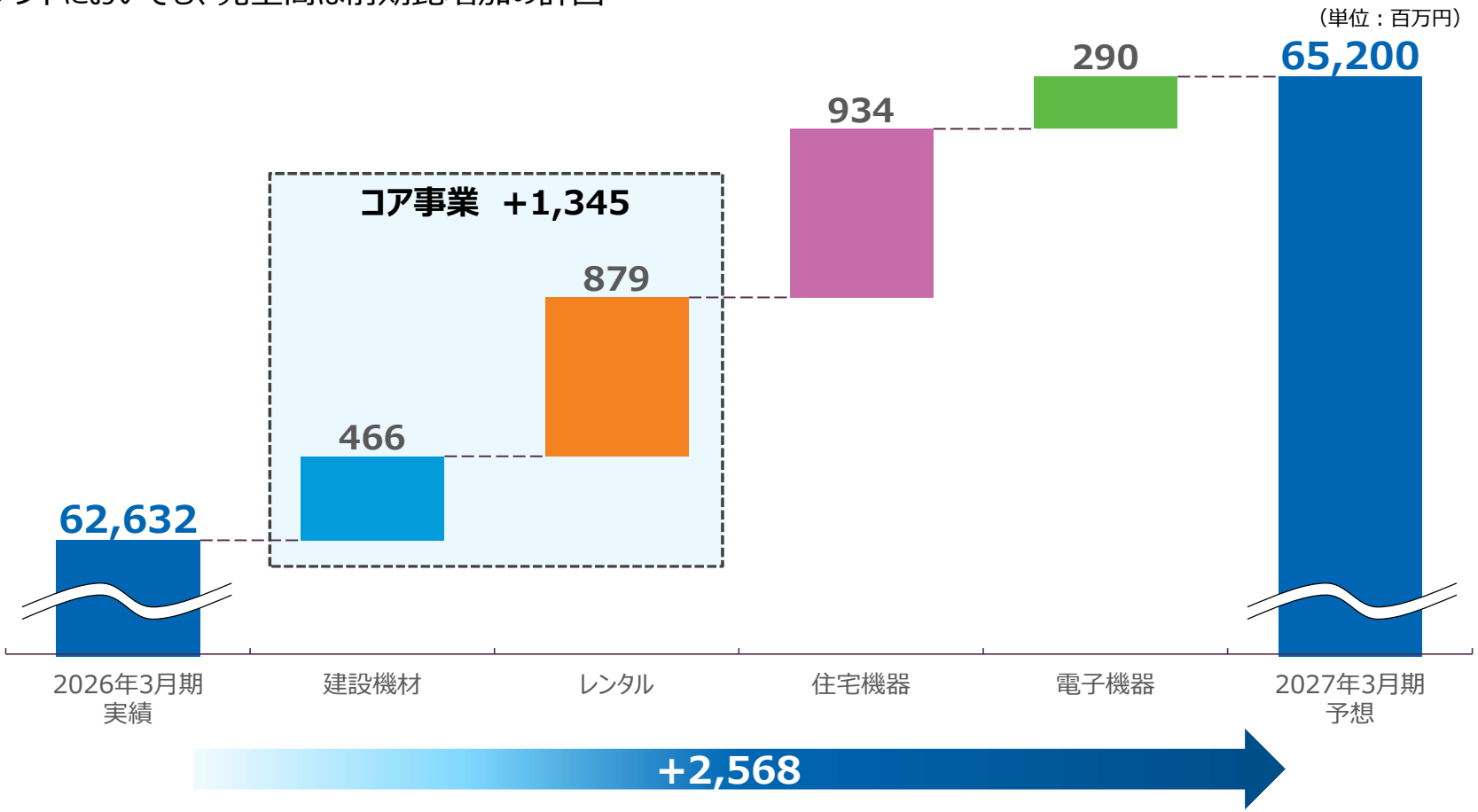
上段：売上高 下段：セグメント利益	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績			2027年3月期 予想			
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	前期比増減率
建設機材関連	24,565 2,212	12,955 1,009	11,718 961	24,674 1,971	12,900 1,310	12,240 1,080	25,140 2,390	+1.9% +21.3%
レンタル関連	18,001 1,407	8,827 577	9,054 691	17,881 1,269	9,300 490	9,460 670	18,760 1,160	+4.9% △8.6%
住宅機器関連	13,973 △523	7,265 △79	7,190 △283	14,456 △363	7,710 △190	7,680 △80	15,390 △270	+6.5% －
電子機器関連	5,061 △534	2,700 △239	2,919 △202	5,620 △441	2,790 △210	3,120 △70	5,910 △280	+5.2% －
調整	－ 115	－ 153	－ 187	－ 340	－ 100	－ 100	－ 200	－ －
全社合計	61,601 2,678	31,748 1,421	30,883 1,355	62,632 2,777	32,700 1,500	32,500 1,700	65,200 3,200	+4.1% +15.2%

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2027年3月期　セグメント別売上高増減予想

✓売上高は前期比25億68百万円増の652億円で計画
✓コア事業において建設機材セグメントは前期比4.6億円増、レンタルセグメントは前期比8.7億円増で計画
✓その他のセグメントにおいても、売上高は前期比増加の計画

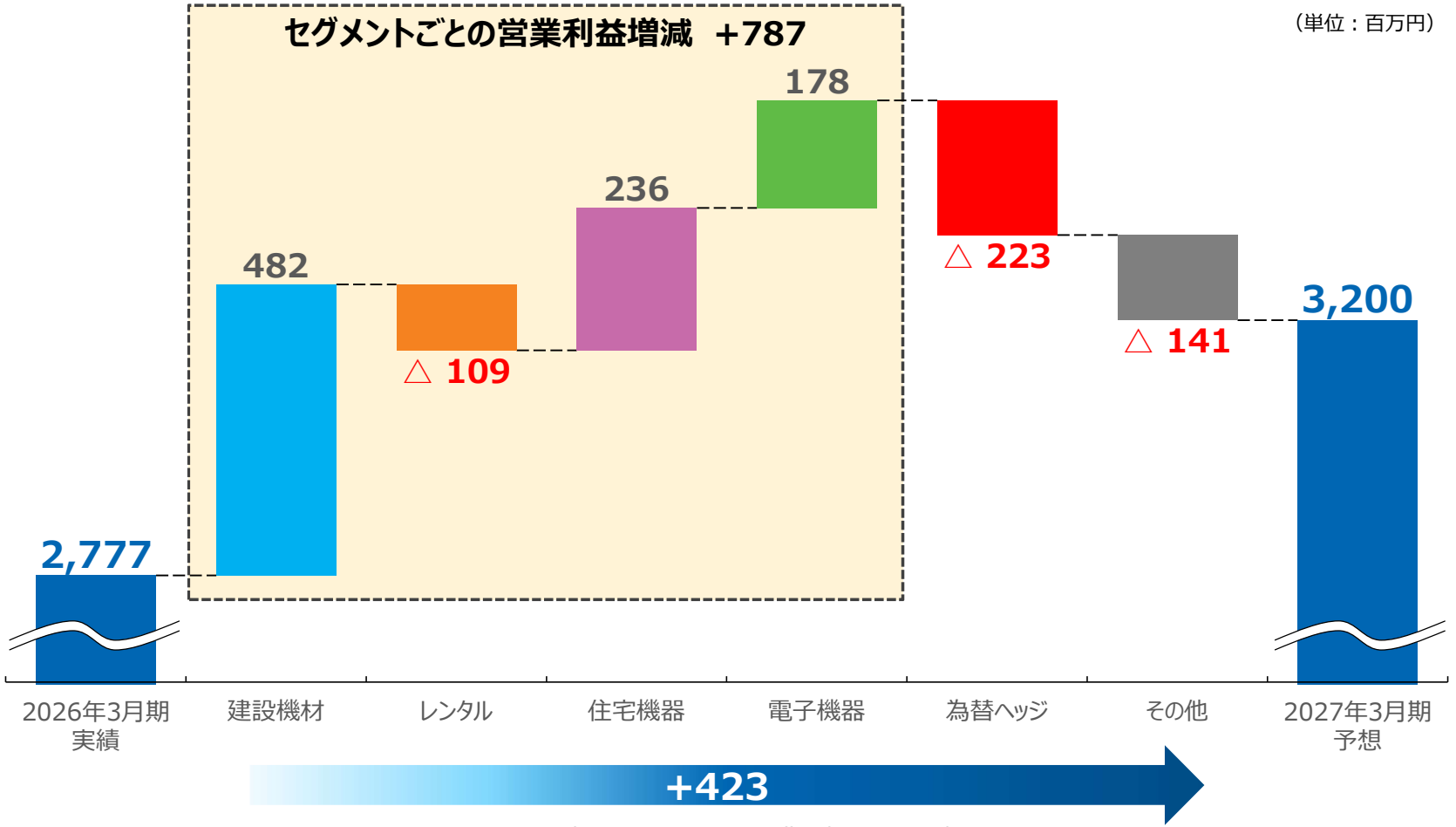


Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2027年3月期　経常利益増減予想

✓営業利益は、各セグメントの売上高増加と利益改善により前期比7.8億円増加
✓経常利益は、為替ヘッジによる為替差益が前期比2.2億円減少するも、前期比4億23百万円増の32億円を計画



Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2027年3月期　年間配当

✓ 利益配分に関する基本方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けている。
剰余金の配当について、安定的な配当の維持を基本方針とし、連結配当性向40%を目標として配当を実施していく。
なお、2024年4月3日に公表した「中期経営計画2027」において、剰余金の配当について過去の配当実績などもふまえ、従来の方針に加えて「中期経営計画2027」期間中は、1株あたりの配当額を前年度実績を下限として利益成長に応じて増加させる**累進配当**を実施することとしている。

✓ 2027年3月期剰余金の配当

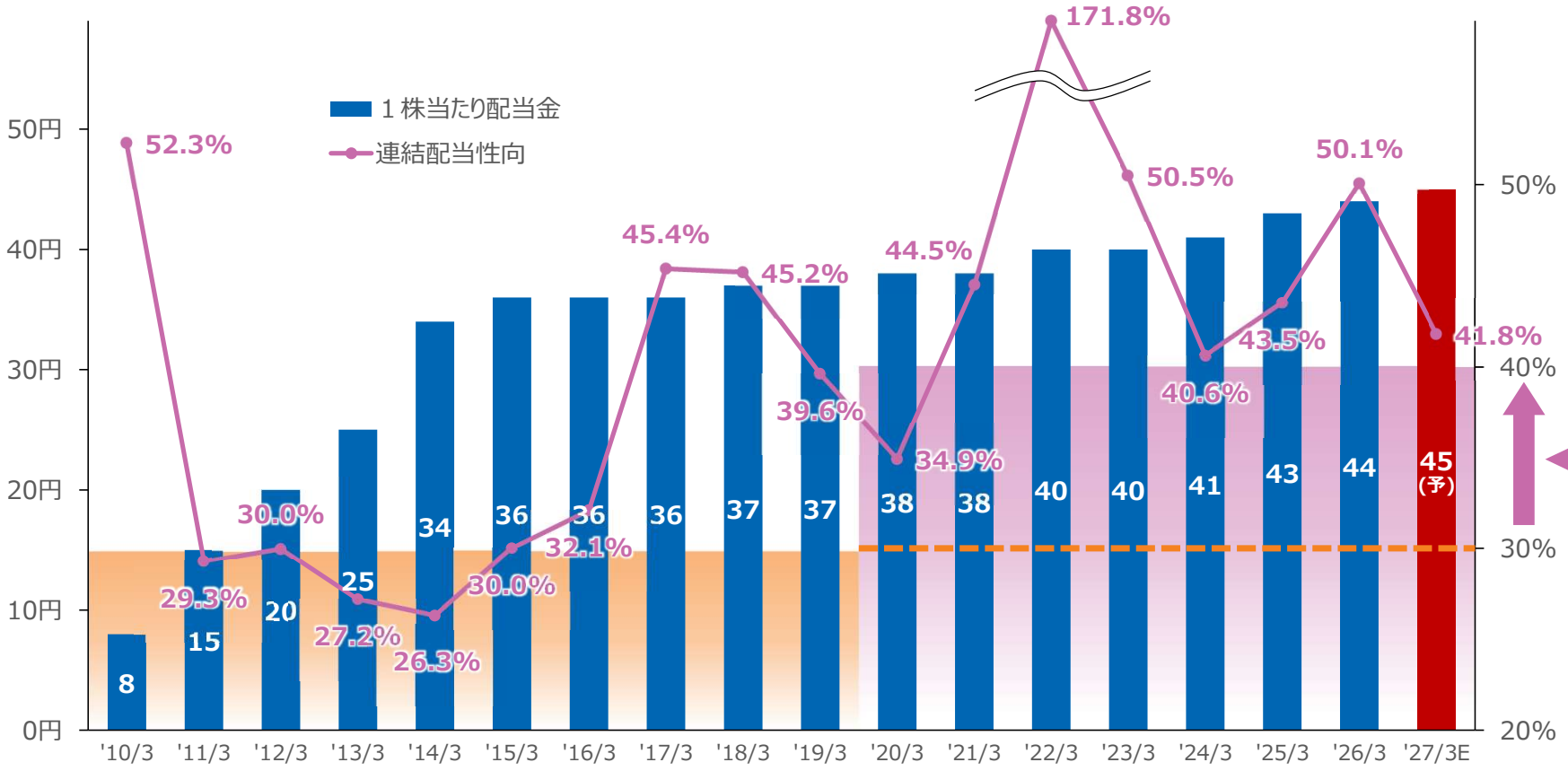
2027年3月期の配当金については、上記の利益配分に関する基本方針のとおり、連結配当性向40%の達成と累進配当の実施を勘案し、年間配当金は前期に比べて1円増配の1株あたり45円を予定している。

		2025年3月期	2026年3月期	**2027年3月期 (予定)**
年間配当金(円)	第2四半期末	21.00	22.00	22.00
	期末	22.00	22.00	23.00
	合計	43.00	44.00	45.00
配当性向(%)		43.5	50.1	41.8

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

株主還元・配当方針

- ✓ 安定的な配当を基本方針とし、**連結配当性向40%**を目標
- ✓ 「中期経営計画2027」期間中(2025年3月期~2027年3月期)については、前年度実績を下限として一株当たり配当額を利益成長に応じて増加させる**累進配当**を実施



前年度実績を下限としたEPSの増加に応じた増配を継続

2020年3月期より連結配当性向の目標を30%→40%に引き上げ

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

本資料についての留意事項

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】
アルインコ株式会社 経理本部 IR室
大阪市中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル
E-mail：alinco-ir@alinco.co.jp

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.